

一部に持ち直しの動きがあるも、低調に推移

コロナ感染が落ち着くも、原材料価格等値上がりによる価格転嫁難

～景況 DI 値は、前年同月比同水準のマイナス39.5～

* DI とは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 11月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比15.7ポイント上昇のマイナス5.3。非製造業では、前月比同水準のプラス15.8、前年同月比31.1ポイント低下のマイナス57.9。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス31.6。非製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラス10.6、前年同月比同水準のプラスマイナス0。

収益状況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス26.2。非製造業では、前月比31.5ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス36.8。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス21.0。非製造業では、前月比15.7ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス31.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。

景況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.6、前年同月比4.6ポイント上昇のマイナス26.9。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス42.1。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.2ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス39.5となった。製造業の一般食料品、繊維工業、木材・木製品、金属製品、生コン関連で原材料価格が値上がりしており、価格転嫁が困難な状況が続いている。非製造業では、新型コロナ感染拡大が落ち着きつつあるなか少しずつ動きが出てきており、旅館・観光関連では、緊急事態宣言解除と WeLove 山陰キャンペーン効果により予約状況は改善しつつある。県内景況は一部業種で持ち直しの動きがみられるものの、引き続き低調に推移している。新型コロナ感染拡大が落ち着きつつあるが、今後の感染拡大の懸念もある。また多くの業種で原材料価格等値上がりによる価格転嫁が困難な状況が続いており、引き続き予断を許さない状況。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

11月の全国倒産は、件数468件で、11月としては2000年以降最小。前年同月比でも6カ月連続の2ケタ減となり、倒産件数が大幅に抑制された状態が続いている。負債総額は814億9,700万円（負債総額1,000万円以上）で、4カ月ぶりに前年同月比減少に転じたほか、11月として1973年以来48年ぶりの低水準となった。不況型倒産の合計は363件で、6カ月連続で前年同月を下回った。構成比は77.6%を占める。

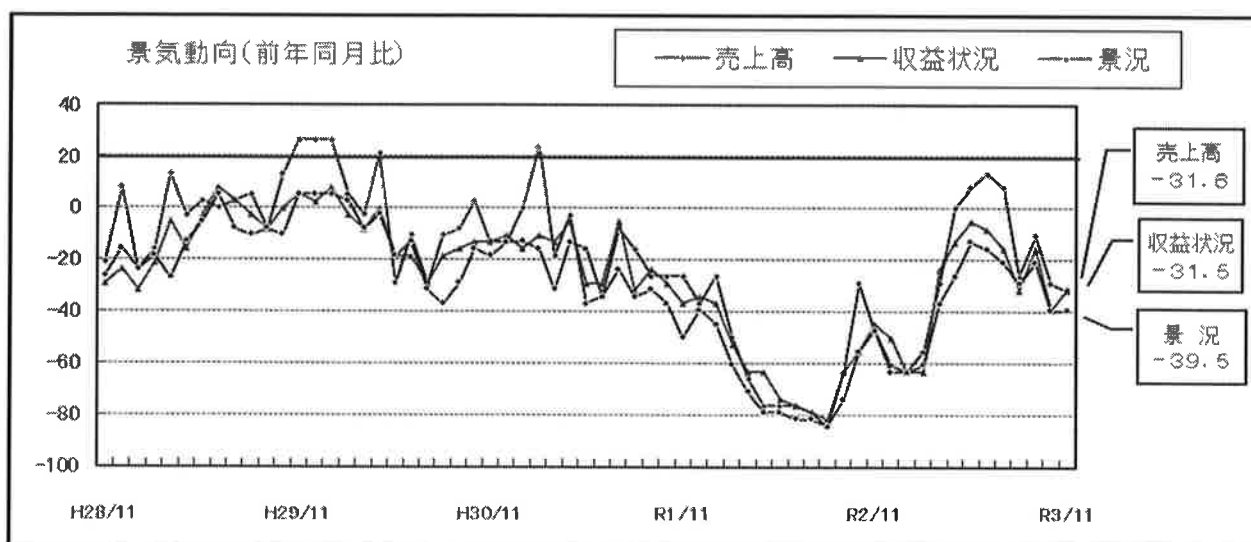
一方、11月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月3件）、負債総額は5,600万円（前月4億3,600万円）で、業種はサービス業、主因は販売不振となっている。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報10月分」）

鳥取県の10月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.35倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.15倍）で、前月より0.02ポイント低下した。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.30倍、米子所1.39倍、倉吉所1.60倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.49倍（季節調整値）で、前月より0.01ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比1.6%増加し、有効求人数は9.4%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他（41.4%）、製造業（38.1%）、建設業（9.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.3%減少し、有効求職者数は1.5%減少した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.29倍で、前年同月を0.03ポイント上回った。新規求人数は前年同月を5.5%下回った。



1 1 月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	31.6%	-5.3 10.5	42.1%	26.3%	15.8 0.0	34.2%	28.9%	5.3 5.3
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 0.0	8.3%	16.7%	-8.4 -8.4	12.9%	12.9%	0.0 -6.4
(3) 販売価格	15.8%	0.0%	15.8 5.3	21.1%	10.5%	10.6 5.3	18.4%	5.3%	13.1 5.2
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 10.6	0.0%	5.3%	-5.3 10.5	2.6%	2.6%	0.0 10.5
(5) 収益状況	10.5%	26.3%	-15.8 0.0	36.8%	15.8%	21.0 31.5	23.7%	21.1%	2.6 18.7
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 15.7	5.3%	13.2%	-7.9 7.9
(7) 設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 0.0						
(8) 雇用人員	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	5.3%	0.0 5.2	5.3%	2.6%	2.7 5.4
(9) 景 況	10.5%	21.1%	-10.6 0.0	15.8%	26.3%	-10.5 10.5	13.2%	23.7%	-10.5 5.2

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	31.6%	-5.3 15.7	10.5%	68.4%	-57.9 -31.1	18.4%	50.0%	-31.6 2.6
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 -5.2	8.3%	25.0%	-16.7 16.7	9.7%	16.1%	-6.4 3.3
(3) 販売価格	31.6%	0.0%	31.6 15.8	21.1%	21.1%	0.0 0.0	26.3%	10.5%	15.8 7.9
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	2.6%	10.5%	-7.9 2.7
(5) 収益状況	21.1%	47.4%	-26.2 0.0	5.3%	42.1%	-36.8 15.8	13.2%	44.7%	-31.5 7.9
(6) 資金繰り	5.3%	26.3%	-21.0 0.0	5.3%	36.8%	-31.5 15.8	5.3%	31.6%	-26.3 7.9
(7) 設備操業度	21.1%	21.1%	0.0 15.8						
(8) 雇用人員	10.5%	10.5%	0.0 5.2	0.0%	26.3%	-26.3 10.5	5.3%	18.4%	-13.1 8.0
(9) 景 況	10.5%	47.4%	-26.9 4.6	5.3%	47.4%	-42.1 5.3	7.9%	47.4%	-39.5 0.0

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 観光土産品関連業者は、引き続き従業員の一時帰休を実施している。原料（小麦粉、油脂類）や燃料（LP ガス等）の大幅な値上げが収益を圧迫している。

醬 油⇒ スーパー等の量販店は昨年並みに回復しているが、旅館や飲食店等の業務用が昨年より落ち込んでおり、依然として苦しい状況が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、前年同月比では受注量は減少傾向。製造単価が上がっているが、販売価格は上がらない状況。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 雇用調整助成金が4月まで延長され安堵している。来年春物・夏物商品の受注は不安定のまま、百貨店、量販店売場の低迷が続いており、無店舗、カタログ、通信販売は堅調に推移し、コロナ禍による売場の変化が顕著かつ固定化しつつある。

【家具装備品】

⇒ 東南アジア諸国の新型コロナによるロックダウンの影響で、商品等が入荷しない若しくは遅れが出ている。来年以降は少しずつ解消の動きもみえるが注視していきたい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量も不変。原木価格はヒノキが落ち着いているが、杉材は高止まり。製材品価格は依然強い。今後の降雪によっては更に上昇する可能性もある。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに15%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 冬季の需要期に向けてある程度の売上増となっている。昨年と比較すれば回復してきている。

【印 刷】

⇒ 年度末に向けて、学校関連の受注が増えつつある。また、来年度開催のイベントの準備も始まりつつある。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 11月の生コン出荷量は、前月比2%増加、前年同月比16%増加。全体的に低調。コロナ禍の中で、民間投資意欲が下がりつつある。公共投資は盆明けから改善がみられるが、秋口より新規物件の発注が少ない。民間設備投資はマンションやこども園などの工事があるが、数量を押し上げるほどにない。セメントの値上げが各メーカーで1月以降2,000円～2,400円/トンの動きがあり、さらに軽油の値上がりでダン

プの運賃値上げと自社のミキサー車による大幅なコスト上昇により、生コン販売価格の検討が急務となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、仕事量を確保しているが、来春以降の物件が見えない。特に東部は厳しい。鋼材の値上がり（高止まり状態）と、一部品種（特にコラム）によっては、極端な品薄が続いている状況。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注や引き合いが増えているが、半導体不足に加え、アジア圏の新型コロナ感染拡大により、部品供給の確保が難しく操業への影響が懸念される。鋼材が、世界的な鉄不足により、全ての品種で国際市況の上昇幅が大きく、需給がひっ迫しており国内価格が大幅な値上がりが続けている。

鉄骨加工⇒ 物件は確保しているが、鋼板、コラムなどの資材単価と溶材など消耗品高騰の影響を大きく受けており収益の悪化が懸念される。半年後の案件などは契約時に上昇分を見込んでいてもそれ以上に価格が上がることも多く、販売先に認めてもらえない状況もある。

金属熱処理⇒ 自動車減産の影響により発注数が減少傾向にある。今まで唯一活発であった建設機械関係の受注にも、陰りが出てきている。

【電気機械器具】

⇒ 受注は増加傾向にある。部材調達の影響は少し緩和されたが先行きは不透明。人員不足はさらに厳しさを増している。海外生産から国内帰りの傾向もあるが期間限定になる可能性がある。受注は堅調だが原価コスト上昇と人員不足による生産効率の問題で利益確保が難しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 検査キットなどコロナ対策用品は動いている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。温暖な気候により全国的に安値となり売上増加に繋がらなかった。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。新たな変異株オミクロン株が世界的な流行の兆しを示しており、今後の不安要素となっている。

中部地区⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。事務機器関連業界においては、飛沫防止パーティション等コロナ対策用品も一通り行き渡り業界としては一服状態。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。輸入木材価格の高騰によるウッドショックの影響が見受けられる。また半導体不足による電化製品、PC等の物流の懸念がある。

水産物⇒ 巻き網漁は、月前後半に時化が続き全体の水揚量は伸び悩んだ。輸出处向けの冷凍ツバス、加工、餌料向けの冷凍サバの荷動きは活発となったが手持の物量が少なく発注に対応しきれない状況。松葉ガニは水揚量が少なく地元向け、通販向けとして昨年の2倍以上の相場で推移している。

松葉ガニの代替えとしての紅ズワイガニも高値が続き「姿売り」に対応できる上品は近年にない高値、輸入ガニの絶対的不足から年末需要に対応するかたちで全体に高値で推移している。

リサイクル原料⇒ 国内スクラップ市況は、市中スクラップの発生、荷動きが勢いを欠いているため、国内電炉メーカーは状況を様子見しながら小幅な値下げ改定に留めた。古紙市況は不変。非鉄金属市況は、高値のまま推移した。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、テイクアウト等の消費傾向の変化を捉えた新店舗の出店も見られるようになった。消費者心理としてコロナ禍で将来への不安や消費しないことへの慣れが出ている。この不安を払拭しないと本格的な回復には繋がらない。飲食店では少し忘年会等の予約が入ってきている。WeLove 山陰キャンペーンが復活、プレミアムの食事券などが発行で限定的ではあるが少しずつ動きが出てきている。小売業はまだまだ厳しい状況が続いている。全体的に消費喚起できなければ、年末に向けて、体力的に非常に厳しい店舗が多い。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、新型コロナ感染拡大が落ち着き、人の流れが少しずつ戻ってきているが、コロナ前の状態にはほど遠い。商店街、中心市街地を活性化するために若手組合員を中心にアイデアを出し合いながら、ウィズコロナ、アフターコロナに向けて進めていきたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、新型コロナ感染拡大が落ち着きつつあるなか、11月27日、元町パティオ広場において「月イチマーケット」が開催されカニの無料配布が行われた。米子駅前周辺施設では、第十次米子映画事変のイベントが開催され、多くの人で賑わった。少しずつだがイベントを通じて街も活気を取り戻しつつある。

境港市の水産物小売は、緊急事態宣言が全面解除され、少しずつではあるものの観光客が戻りつつある。今後の消費者の動向に注視している。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、鳥取砂丘、砂の美術館への入込数は徐々に増加、カニ漁解禁で観光バスも増加したが、売上は前年割れの状況が続いている。

米子市のホテル・旅館では、緊急事態宣言解除と WeLove 山陰キャンペーン効果により、前月比で売上高は増加し、収益状況も好転した。前年同月比では、昨年は GoTo トラベルの効果があったため、売上高は減少している。業界全体の景況は回復傾向にあるものの、厳しい状況は続いている。

三朝温泉では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。緊急事態宣言解除後、予約は増加傾向にある。

羽合温泉では、緊急事態宣言解除もあり、売上高は前月比で増加、前年同月比は減少。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数（軽自動車を含む）は1,969台で前月比が30%

増、前年同月比は12%減。継続検査（車検）台数（軽自動車を含む）は14,405台で前月比が4%増、前年同月比は16%増。中古車（軽自動車を含む）は655台で前月比が4%減、前年同月比は6%増となった。新車の販売は持ち直しつつあるが、前年比は大幅な減少。中古車を含む継続検査は前年比で大幅増となった。

【建設業】

⇒ 10月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額194億円（前年同月比133%増）、件数162件（前年同月比20%減）で、年度累計（令和3年4月～10月）は、請負金額729億円（前年同月比4%減）、件数1,192件（同9%減）となった。単月で大幅に上振れ、年度累計のマイナス幅も縮小。設備投資では単月、3カ月平均ともに前年比プラスが続く。住宅建設は単月、3カ月平均ともに前年比プラス。木材・鉄鋼などの資材価格上昇による収益圧迫や住宅設備機器などの納品遅れ・欠品の影響が続いている。

10月の鳥取県新設住宅着工戸数は229戸（持家166戸、貸家63戸）で、前月比25%減、前年同月比2%増となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 10月の物流は、製造業で出荷調整もあり横ばいで推移しており輸送量の低下した状況が続いている。農産物の輸送が依然として低調となっており相対的に厳しい運行が続いている。復路荷物も前月に比べ情報量は増加傾向にあるが空車車両との調整が合わず非効率な運行が増えている。原油高により燃料価格が値上がりし高値が続いており、収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 青果物は、輝太郎柿の出荷も順調に推移し、富有柿の出荷も期待されたが炭疽病（たんそびょう）の影響で例年の5～6割までの出荷に止まった。大手製造業でも入出庫とも輸送量は減少したままで推移、往路復路ともに低調となり、空車回送が多く見受けられるようになった。燃料価格は相変わらず上昇し続けており、12月2日開催となった「OPEC プラス」の閣僚級会合の行方が注目される所。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・地域全体、企業や店舗向けのコロナ施策を望む。【家具製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・外国人技能実習生、特定技能生の入国規制緩和を急いでほしい。【電子部品製造業】
- ・これから、手を緩めずどんどん経済対策を打っていただきたい。【商店街】
- ・がんばろう！商店街事業（旧：GoTo 商店街事業）への支援。【商店街】
- ・GoTo トラベルの早期再開。コロナ施策の給付要件緩和。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-5.3
	非製造業	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	15.8
	全業種	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	5.3
在庫数量	製造業	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	15.7
	非製造業	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	-25.0
	全業種	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7
販売価格	製造業	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	15.8
	非製造業	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	10.6
	全業種	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	13.1
取引条件	製造業	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3
	非製造業	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3
	全業種	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	0.0
収益状況	製造業	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-5.3
	非製造業	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	21.0
	全業種	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	7.8
資金繰り	製造業	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-15.7
	非製造業	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-5.3
	全業種	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-10.6
設備操業度	製造業	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0
雇用人員	製造業	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	非製造業	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.3
	全業種	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	2.7
景況	製造業	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	5.2
	非製造業	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	0.0
	全業種	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	2.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	36.8
	非製造業	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-5.2
	全業種	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	15.8
在庫数量	製造業	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	0.0
	非製造業	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	0.0
	全業種	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	0.0
販売価格	製造業	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	52.6
	非製造業	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	10.6
	全業種	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	31.6
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.1
	非製造業	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-5.3
	全業種	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-2.6
収益状況	製造業	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	26.5
	非製造業	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	0.0
	全業種	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	13.2
資金繰り	製造業	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	0.1
	非製造業	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-5.2
	全業種	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-2.6
設備操業度	製造業	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	52.6
雇用人員	製造業	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	15.8
	非製造業	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	0.0
	全業種	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	8.0
景況	製造業	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	31.0
	非製造業	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-5.3
	全業種	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	7.9

情報連絡員報告総括表（令和3年11月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
	木材・木製品	1	0	3	0	3	1	0	4	0	0	4	0	1	2	1	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	3	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
製造業	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
非製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	卸売業	0	5	1	0	5	1	0	5	1	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	商店街	1	0	3	1	2	1	1	2	1	0	3	1	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	3	1	0	1	3
製造業	サービス業	5	0	0			3	2	0	0	5	0	4	1	0	2	3	0	3	0		1	4	0	3	1	1	1
	建設業	1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	運輸業	0	1	1			0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1
	その他																											
	その他																											
100%	19	5	8	6	3	14	2	3	16	0	1	18	0	2	12	5	0	17	2	2	15	2	1	18	0	2	13	4
	26.3%	42.1%	31.6%	15.8%	73.7%	10.5%	15.8%	84.2%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	68.4%	21.1%	
	100%	42.1%	31.6%	26.3%	8.3%	66.7%	16.7%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	36.8%	47.4%	15.8%	10.5%	73.7%	15.8%				5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	57.9%	26.3%
100%	38	13	14	11	4	22	4	7	29	2	1	36	1	9	21	8	2	31	5	2	15	2	2	35	1	5	24	9
	34.2%	36.8%	28.9%	12.9%	71.0%	12.9%	18.4%	76.3%	5.3%	2.6%	94.7%	2.6%	23.7%	55.3%	21.1%	5.3%	81.6%	13.2%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	92.1%	2.6%	13.2%	63.2%	23.7%	
	100%	34.2%	36.8%	28.9%	12.9%	71.0%	12.9%	18.4%	76.3%	5.3%	2.6%	94.7%	2.6%	23.7%	55.3%	21.1%	5.3%	81.6%	13.2%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	92.1%	2.6%	13.2%	63.2%	23.7%

情報連絡員報告総括表(令和3年11月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1～2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	2		
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3		
	木材・木製品	1	1	2	0	3	1	2	0	0	3	1	1	2	1	0	2	2	1	2	1	0	4	0	0	2	2		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
化学工業	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1		
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1		
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器	輸送用機器																												
	その他																												
	卸売業	19	5	8	6	2	15	2	6	13	0	1	16	2	4	6	9	1	13	5	4	11	4	2	15	2	2	8	9
	小売業	100%	26.3%	42.1%	31.6%	10.5%	78.9%	10.5%	31.6%	68.4%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	31.6%	47.4%	5.3%	68.4%	26.3%	21.1%	57.9%	21.1%	10.5%	78.9%	10.5%	10.5%	42.1%	47.4%
	商店街		1	4	1	0	5	1	1	4	1	0	6	0	1	5	0	1	5	0				0	6	0	1	5	0
サービス業	小売業		0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
	サービス業		1	0	3	1	1	2	1	2	1	0	2	2	0	2	2	0	2	2				0	2	2	0	2	2
	建設業		0	0	5			1	3	1	0	5	0	0	2	3	0	2	3				0	3	2	0	1	4	
	建設業		0	0	1			1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1	
	運輸業		0	0	2			0	1	1	0	2	0	0	1	1	1	0	1				0	2	0	0	1	1	
その他	その他																												
	卸売業	19	2	4	13	1	7	3	4	11	4	0	17	2	1	10	8	1	11	7				0	14	5	1	9	9
	小売業	100%	10.5%	21.1%	68.4%	8.3%	58.3%	25.0%	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%	5.3%	57.9%	36.8%				0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	47.4%	47.4%
	商店街	38	7	12	19	3	22	5	10	24	4	1	33	4	5	16	17	2	24	12	4	11	4	2	29	7	3	17	18
	サービス業	100%	18.4%	31.6%	50.0%	9.7%	71.0%	16.1%	26.3%	63.2%	10.5%	2.6%	86.8%	10.5%	13.2%	42.1%	44.7%	5.3%	63.2%	31.6%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	76.3%	18.4%	7.9%	44.7%	47.4%